合格体験記⑤　東京工業大学　第4類

【大学の種類】国公立

【キャンパス】大岡山キャンパス（東京）
すずかけ台キャンパス（神奈川）

～大学 info～

【設置学部】

理学部，工学部，生命理工学部，物質理工学部

環境・社会理工学部，情報理工学部

【学生数】４，８５８人

【豆知識】

理系の最難関大学といわれる東京工業大学。中でも，数学の入試が難しくて有名で，１８０分（3時間）で5問を解く形式がずっと続いています。「B2D 特別選抜制度」があり，学部２年生から研究室に所属することができる（多くの大学は3年生から）ので，より専門的に研究することができる環境が整っているとか。他大学の授業も受けることができ，その単位を読み替えることができるそうですよ。

東京工業大学第 4 類に進学することになりました。私が合格するに至った経緯とその過程で感じたことについて簡単に書きたいと思います。

まず、高校に入学した頃は大学のとこについても良く知らず、特にやりたいこともなく、学力的にも今ひとつでした。しかし、高一の秋頃にこのままではさすがにまずいと思い、まずどんな大学があるのか調べてみることにしました。そこで見つけたのが東工大でした。このときは、ただ単純にホームページがかっこよかったことで興味を持ちましたが、成績は全く及ぶものではありませんでしたし、とてつもなく高い壁なんだろうと思い込んでました。

自分が勉強し始めたのは三年生になる前の春休みからです。このときは、授業より先に受験で使うであろう教科の範囲を終わらせようと思い勉強していました。しかし、この時点では東工大については諦めていて、別の大学に第一志望は変えていました。そうすると学祭期間や夏休みなど勉強に身が入らない時期もありましたが、模試でだんだん成績が取れるようになってきました。そして、7月に受けた模試で東工大の一部の類で A 判定が出たので、自分でも半信半疑な部分がありつつもまた東工大に対する気持ちも芽生え始め、勉強のペースも夏休み後からだんだん上がって行きました。三年の秋から冬にかけてはだいぶ勉強も進み、模試で良い判定も出ていましたが、自分の学力に自信が持てず、挑戦するか安全策を取るかですごく悩んでいました。結局、最終的に受験校を決めたのはセンター試験後です。その後家庭学習期間に追い込んだこともありなんとか合格することができました。

これらの経験からまず大事だなと思ったのは、自分の勉強法を確立することです。自分の場合は自学自習に重点を置いていました。その方が効率がよかったからです。それと、自分の大学はセンター試験がほぼ必要なかったのでその勉強はしませんでした。自分の志望校に合った勉強をすることが大切です。

次に大事なのは、情報を集めることです。どうしても根室にいると情報は集まらないですが、勉強法や大学についてはネットで探せば情報はたくさんあります。低学年の時は、受験勉強についてのイメージもわかないでしょうが、最低限情報は集めておきましょう、後で役に立つはずです。それと、第一志望の大学は早く決めた方が良いと思います。そして、あくまで行きたい大学が優先ですが、自分の学力よりもすこし高い大学を目標にするのが良いと思います。

最後に受験は想像以上に辛いものです。仲間も少なく孤独な戦いを強いられるでしょうが、それを乗り越えた達成感は本当に大きいものです。皆さん最後まで諦めず頑張ってください。